

# 大学生の友人関係スタイルに関する研究

○森下俊秀・井上弥  
(広島大学大学院教育学研究科)

## 目的

大学生は学校生活に適應する上で、友人と多様な関わり方をしている。永井（2016）は友人関係尺度（「自己開示」、「配慮・気遣い」、「評価懸念」、「干渉回避」の4因子）を用いて、友人関係の取り方と学校適應との関連について検討している。また、石本（2011）も友人関係のあり方（心理的距離、同調性、グループ境界の強固性）と学校適應（学校生活享受感）との関連を検討している。しかし、これらの研究では友人関係と学校適應の関連についての結果は一貫していない。

そこで、本研究では、友人関係と学校適應の関連を検討するために、まず、先行研究で作成されている友人関係に関する尺度について包括的に捉え、大学生の友人関係スタイルを示す尺度を作成することを目的とする。

## 方法

**参加者** 大学生 69名（男性 19名、女性 50名）

**質問項目** 永井（2016）の友人関係尺度 20項目、石本（2011）の心理的距離尺度 5項目、石本（2011）の同調性尺度 5項目の計 30項目について 5件法（1:全く当てはまらない、2:あまり当てはまらない、3:どちらともいえない、4:少し当てはまる、5:よく当てはまる）で回答を求めた。

## 結果と考察

**因子分析** 永井（2016）の友人関係尺度、石本（2011）の心理的距離尺度及び同調性尺度の計 30項目について、因子分析（最尤法、プロマックス回転）を行った。その結果、3項目が除外され最終的に 4因子が抽出された（Table 1）。

第 1 因子を「積極的關係」（ $\alpha=.87$ ）、第 2 因子を「同調性」（ $\alpha=.75$ ）、第 3 因子を「配慮気遣い」（ $\alpha=.66$ ）、第 4 因子を「対立回避」（ $\alpha=.76$ ）と命名した。

**クラスター分析** 友人関係スタイル尺度の得点をもとに階層的クラスター分析（ユークリッド平方距離、Ward 法）を行った。友人関係スタイルは「配慮対立回避型」、「同調配慮型」、「自己中心型」、「関係回避型」、「同調対立回避型」の 5 群に分類した場合に一定の解釈が可能であった。クラ

スター分析による 5 つの友人関係スタイルの分類と分散分析の結果を Table 2 に示した。

Table 1 友人関係スタイル尺度の因子分析結果

項目	I	II	III	IV
第1因子:積極的關係( $\alpha=.87$ )				
友人09 悩み事を相談する	<b>.929</b>	-.080	-.335	.442
友人22 落ち込んだとき話を聞いてもらう	<b>.864</b>	-.043	-.109	.207
友人18 私は友人と一緒にいると心が安らぐ	<b>.712</b>	.094	.166	-.105
友人01 私は友人とよく話していると思う	<b>.636</b>	.086	.085	-.184
友人15 自分の心を打ち明けて話す	<b>.631</b>	.145	-.049	-.195
友人27 私は友人と本当に理解し合えていないように思う	<b>-.572</b>	.065	-.168	.179
友人08 私は友人と気が合う	<b>.550</b>	.086	.091	-.109
友人16 楽しい雰囲気になるようにふるまう	<b>.513</b>	.092	.119	.129
友人29 本当の気持ちは話さない	<b>-.507</b>	.195	.050	.201
友人02 友人とは心のつながりがやすいように感じる	<b>-.380</b>	.014	.011	.187
第2因子:同調性( $\alpha=.75$ )				
友人19 できるだけ友人と同じように行動したい	.232	<b>.919</b>	-.197	-.089
友人07 友人と同じことをしていないと不安だ	-.058	<b>.700</b>	.032	-.006
友人10 友人と話が合わない不安だ	.254	<b>.547</b>	.045	.215
友人24 仲間はずれにされたくないで、話を合わせる	-.147	<b>.434</b>	-.223	.341
友人14 流行遅れになるのは嫌だ	-.263	<b>.355</b>	.174	.095
第3因子:配慮気遣い( $\alpha=.66$ )				
友人20 友人を傷つけないようにする	.199	-.091	<b>.812</b>	-.198
友人12 相手の気持ちに気がつかう	.146	.070	<b>.582</b>	.162
友人17 相手にやさしくするよう心がける	.459	.130	<b>.505</b>	-.033
友人04 相手に甘えすぎない	-.041	-.350	<b>.488</b>	.321
友人11 友人から「つまらない人」と思われないように気をつける	-.201	.350	<b>.376</b>	.117
友人28 ウケるようなことをする	-.187	.140	<b>.350</b>	-.090
第4因子:対立回避( $\alpha=.76$ )				
友人21 友人と意見が対立しないよう気をつける	.150	.248	-.230	<b>.604</b>
友人25 相手の世界に口出ししない	-.030	-.227	.272	<b>.599</b>
友人03 浅い付き合いのことどめる	-.427	-.167	-.177	<b>.522</b>
友人30 相手の言うことに口出ししない	-.053	.111	.236	<b>.472</b>
友人05 友人から傷つけられないようにふるまう	-.219	.169	.247	<b>.445</b>
友人26 友人からどう見られているか気にする	.026	.260	.135	<b>.425</b>
因子間相関				
	I	II	III	IV
		-.266		
			.119	.234
				-.339
削除項目 友人23:友人がつかみかからないよう気をつける 友人06:相手に自分の意見を押し付けないようにする 友人13:お互いのプライバシーに立入らない				

Table 2 友人関係スタイルの分類及び特徴

N	F1 積極的關係	F2 同調性	F3 配慮気遣い	F4 対立回避
1. 配慮対立回避型 17	4.12 (.34)	2.53 (.45)	3.96 (.40)	3.55 (.32)
2. 同調配慮型 17	4.32 (.30)	3.06 (.40)	3.79 (.31)	2.66 (.39)
3. 自己中心型 6	4.82 (.10)	1.60 (.40)	3.03 (.61)	1.88 (.42)
4. 関係回避型 19	3.39 (.40)	2.43 (.47)	3.29 (.49)	2.98 (.46)
5. 同調対立回避型 7	3.36 (.22)	3.66 (.30)	3.77 (.34)	3.54 (.40)
F値	36.78***	24.30***	9.22***	26.30***
多重比較	5=4<1=2<3	3<4=1<2<5	3=4<2=1	3<2=4<5=1